

三玖

広報みよし
2006.4.10 vol.25

4月号

奥田元宋・小由女美術館

2006.4.15 sat OPEN

[Full Moon]

〒728-0023 広島県三次市東酒屋町453-6 TEL.0824-65-0010 FAX.0824-65-0012 <http://www.genso-sayume.jp/>

開館記念特別展 | 響き合う二つの芸術 奥田元宋と奥田小由女

2006年4月15日(土)~6月13日(火)



三次市 パワーアップ!

市役所の組織・所管事務が
変わりました

C O N T E N T S

三次市パワーアップ!	2
三次市まち・ゆめ基本条例がスタート!	4
改革と創造の予算	6
「みよし百年物語」策定	8
「創造的行財政改革」を進めます!	10
市長室の窓 おもてなしの花 パンジー満開!	11
ケーブルテレビ 開局! みよし運動公園にテニスコートが完成	12
選定 みよしの匠 夢街道地区に認定	13
みよしの話題 歴史に幕 横谷小学校が閉校 広響と共演 音楽づくりコンサート開催 全国小学生ソフトテニス大会出場 灰塚ダム 浮上した木造船で神楽	14
目指せ!子育て日本一のまち	16
買い物袋持参・ノー包装運動 参加のてびき	19
人口・気象・求人 ほか	23
探訪 みよしの匠 vol.1 伝統工芸の匠 三次人形窯元 丸本壺さん	24

収入役を廃止

副市長 2名体制に

市民協働のまちづくり体制の強化、政策執行のスピード化、政策課題への対応強化を図るため、副市長2人制を導入し、収入役は廃止しました。

また、市民ニーズと政策課題により一層迅速で的確に対応できる組織・機構に見直し、市民サービスの向上を図るため、次のとおり変更しました。

今後、効率的でフットワークの良い組織づくりを進めます。

新しい副市長

仁井 康雄



(略歴) 昭和23年生まれ。昭和41年に旧三次市職員に採用。財政課長、総務課長ほか歴任し、新三次市で財務部長。

組織・機構の詳しい情報は三次市ホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>

❓ 問い合わせ先

総務企画部企画調整担当 企画調整グループ

☎(0824) 62-6115 ☎(0824) 62-6137

✉ kikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp

〈副市長の担当業務〉

(1) 竹重博樹副市長

市長公室、総務企画部、自治振興部、各支所、産業部、建設部、水道局の業務

(2) 仁井康雄副市長（収入役の事務を兼ねる）

市民生活部、子育て支援局、福祉事務所、市民病院部、財務部の業務

〈担当部署を変更したもの〉

業 務	4 月 からの 担 当 部 署	
国際交流業務	市長公室 秘書広報担当 秘書広報グループ	(市役所本館2階) ☎(0824) 62-6103 FAX(0824) 62-6223 ✉hisyo@city.miyoshi.hiroshima.jp
観光振興業務	産業部 観光商工室（元気な商工 室を名称変更）観光交流グループ	(市役所東館4階) ☎(0824) 64-0066 FAX(0824) 64-0172 ✉shoukou@city.miyoshi.hiroshima.jp
上下水道料金の徴収のほか 上下水道の営業業務など	水道局 営業管理室 営業グループ・施設管理グループ	(三次町水道局庁舎) ☎(0824) 62-6303 FAX(0824) 62-8111 ☎(0824) 62-4843 (営業グループ) ☎(0824) 62-6151 (施設管理グループ) ✉eigyokanri@city.miyoshi.hiroshima.jp
上下水道施設整備など	水道局 事業推進室 フレッシュ水道グループ・クリー ン下水道グループ	(三次町水道局庁舎) ☎(0824) 62-6142 FAX(0824) 62-8111 ☎(0824) 62-6165 (フレッシュ水道グループ) ☎(0824) 62-6107 (クリーン下水道グループ) ✉jigyosuishin@city.miyoshi.hiroshima.jp

〈グループ・チームを新設するもの〉

主 な 業 務	新 設 す る グ ル ー プ ・ チ ー ム 名	
美術館の支援に関するこ と	自治振興部 美術館支援チーム	(奥田元宋・小由女美術館内) ☎(0824) 65-0010 FAX(0824) 65-0012
農産物の販売戦略に関す ること	産業部 ふるさと農林室 闘う農政プロジェクトチーム	(市役所東館4階) ☎(0824) 62-6164 FAX(0824) 64-0172 ✉nourin@city.miyoshi.hiroshima.jp
地域包括支援センターの 管理運営に関すること	福祉事務所 いきいきシルバー室 介護支援センター	(市立三次中央病院内) ☎(0824) 65-1144 FAX(0824) 65-2299 ✉shiruba@city.miyoshi.hiroshima.jp

〈その他の変更〉

変 更 内 容		問 い 合 わ せ 先
名 称 の 変 更	市長公室政策担当 調査研究チーム ⇒政策チーム	(市役所本館2階) ☎(0824) 62-6225 FAX(0824) 62-6137 ✉seisaku@city.miyoshi.hiroshima.jp
	自治振興部自治振興室 自治グループ ⇒自治振興グループ	(みよしまちづくりセンター1階) ☎(0824) 64-0091 FAX(0824) 64-0067 ✉jichi@city.miyoshi.hiroshima.jp
	自治振興部まちづくり推進室 文化・国際交流グループ ⇒文化振興室文化振興グループ	(みよしまちづくりセンター2階) ☎(0824) 64-0092 FAX(0824) 64-0096 ✉bunka@city.miyoshi.hiroshima.jp
	産業部元気な商工室 企業立地推進チーム・商工振興グループ ⇒産業部観光商工室 企業立地推進チーム・元気な商工グループ	(市役所東館4階) ☎(0824) 62-6172 (企業立地推進チーム) ☎(0824) 62-6172 (元気な商工グループ) FAX(0824) 64-0172 ✉shoukou@city.miyoshi.hiroshima.jp
グ ル ー プ の 統 合 ・ 廃 止	財務部収納室滞納整理グループを同室収納グループに統 合する。	☎(0824) 62-6127 FAX(0824) 62-6352 ✉shunou@city.miyoshi.hiroshima.jp
	教育委員会教育企画室施設管理グループを廃止し、所管 事務は同室教育企画グループに引き継ぐ。	☎(0824) 62-6182 FAX(0824) 62-6288 ✉kyoiku@city.miyoshi.hiroshima.jp
	教育委員会学校教育室学事グループと指導グループを統 合し、同室に学校教育グループを設置する。	☎(0824) 62-6184 FAX(0824) 62-6288 ✉gakkou@city.miyoshi.hiroshima.jp
	教育委員会社会教育室社会教育グループとスポーツ振興グル ープを統合し、同室にスポーツ・社会教育グループを設置する。	☎(0824) 64-1088 FAX(0824) 64-1090 ✉shakai@city.miyoshi.hiroshima.jp

※その他、県からの権限移譲に関するものは「広報みよし」3月号でお知らせしたとおりです。

市民の「しあわせ」をめざして

三次市まち・ゆめ基本条例がスタート！

市民で構成された検討委員会を中心に、一年をかけて策定を進めてきた「三次市まち・ゆめ基本条例」が平成18年3月定例会で可決され、三次市の新たな自治を進める第一歩を踏み出しました。

まち・ゆめ基本条例って、何？ なぜ必要なの？

まち・ゆめ基本条例は、三次市に暮すみんなが力を合わせてまちづくりを進めるための考え方や仕組みを定めたものです。市民と市議会及び市の三者が、信頼関係を基本にそれぞれの役割と責務を明らかにし、協働のまちづくりをすすめる、自治を実現するために定められました。

条例が必要となった背景には、大きく次の3点があげられます。

① 地方分権の流れ

地方分権一括法が施行され、「地域のことは地域で自ら考え、行う」ことが求められるようになりました。

② 行政の取り組みだけでは限界がある課題

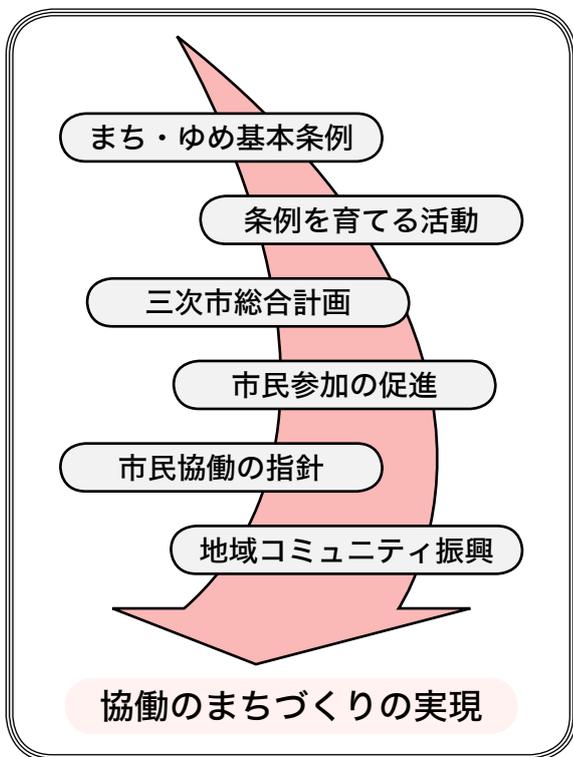
時代の移り変わりとともに、少子高齢社会や環境問題、多様化する市民ニーズへの対応など、市行政だけでは解決しきれない課題がたくさんあらわれてきています。

③ 市民活動、自治意識の高まり

社会的な課題解決のため、ボランティアなどの自主的な市民活動が数多く取り組まれ、自治意識が高まってきています。

こうした状況の中、時代に合った新しいまちづくりの仕組みを定めました。

条例には、三次市がめざすまちづくりの考え方や仕組みが分かりやすく示されていることから、今後三次市の自治を推進していくための『よりどころ』になるものといえます。



▲市民フォーラム たくさんの市民の方が参加されました

❓ 問い合わせ先

自治振興部自治振興室自治グループ
☎(0824) 64-0091 ☎(0824) 64-0067
✉ jichi@city.miyoshi.hiroshima.jp

市民の手による 市民のための 条例づくり

市政は市民のために行うものです。条例ではそれを「市民のしあわせをめざして進めるもの」と表しています。満足度の高い行政運営を行うためには、市民の声が市政に届くよう、さまざまな形の市民参加を進めることが大切です。

条例案づくりにあたっては、市民15人による検討委員会を設置し、地域懇談会や市民フォーラム、住民自治組織との意見交換など、多くの市民の方々の意見を聞きながら、一年という期間をかけて条例素案を作り上げました。

条例制定で始まる まちづくり

市民と市議会、そして市の協働が進むと、市民ニーズに的確にこたえられることや、公共サービスの質の向上、行政コストの削減といった効果があります。

また、『自治力』の向上、市政への市民参加の促進、まちづくりに対する意識が高まるなどの効果も期待されます。

三次市まち・ゆめ基本条例のイメージ

市民と市議会及び市の三者が、信頼関係を基本にそれぞれの役割を担い、責務を果たすことで、協働のまちづくりをすすめます。

市民

- まちづくりに関する情報を知る・取得する権利、まちづくりや市政の意思決定に参加する権利をもちます。
- 自分の発言や行動に責任をもつなどの責務があります。
- 事業者にも、市民の一員としての役割があります。

協働
参加
情報の共有・公開

市議会

- 市の最高の意思決定機関として、市民の意見を把握し、適切な判断に努めます。
- 市議会のことを分かりやすく説明し、透明性を確保します。
- 市政の監視、政策立案機能の充実に努めます。

市

- 公正で計画的に市政運営を行い、協働のまちづくりをすすめます。
- 市民参加の機会確保に努め、市民意見を反映します。
- 情報は、速やかに分かりやすく公開・提供し、説明責任を果たします。
- 必要に応じて、地域の自治活動を支援します。

改革と創造の予算

平成18年度は、50年後、100年後を描く「みよし百年物語」に基づき、予算編成を行いました。

市民が主役のまちづくりを進める中で、「市民の予算提案制度」を創設し、「行政評価」、「補助金審査」など、市

民の皆さんの貴重な提言やご意見を予算に反映しました。

三位一体改革の取組の中で地方主権の時代を迎え、「財政基盤の強化」は、最も優先すべき課題です。こうした中で、全ての事務や事業を抜本的に見直し、三次市行財政改

革大綱に基づき個別の行革推進計画を定め、経費の節減と財源の有効配分に努めました。

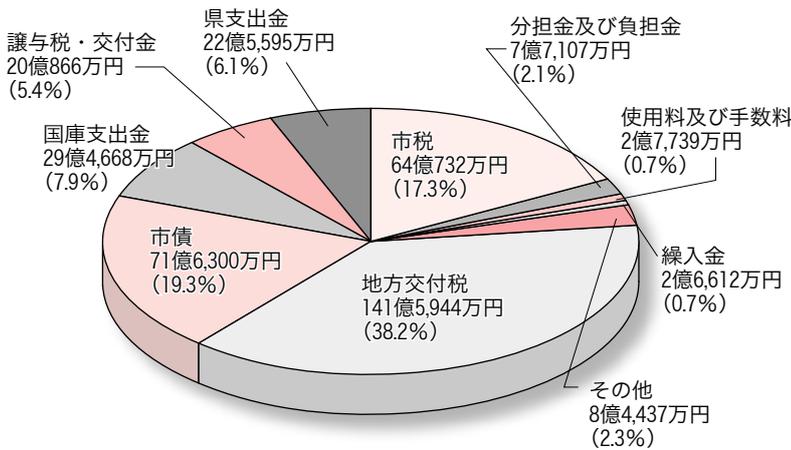
また、「自治体改革の先進市」として、市民サービスの向上に直接結びつく許認可事務など「県の権限移譲」についても、あらゆる業務を対象に移譲の拡大に向けて予算化しました。

※主要事業は9ページをごらんください

会計名	予算総額
一般会計	371億円
特別会計	258億4,264万2千円
国民健康保険特別会計	60億7,666万1千円
診療所特別会計	3億3,561万8千円
老人保健特別会計	91億8,307万9千円
介護保険特別会計	52億3,597万円
分取造林特別会計	1億5,476万3千円
土地取得特別会計	171万3千円
工業団地等事業特別会計	2,183万4千円
ダム対策特別会計	5億5,483万4千円
下水道事業特別会計	21億8,592万1千円
農業集落排水事業特別会計	9億5,197万3千円
簡易水道事業特別会計	11億4,027万6千円
公営企業会計	82億5,939万4千円
病院事業会計	73億7,602万7千円
水道事業会計	8億8,336万7千円
合計	712億203万6千円

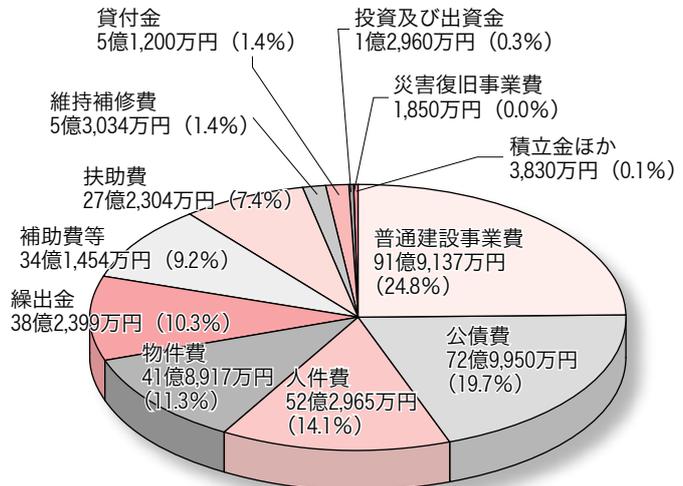
● 歳入の内訳（一般会計予算） ●

総額 371億円



● 歳出の内訳（一般会計予算 [性質別]） ●

総額 371億円



市民予算提案事業を予算化

市民の予算提案制度により、市民のみなさまから25件の提案をいただきました。審査委員会で選考した結果、次の17件の事業を採用し、978万円を予算化しました。ご応募いただき、ありがとうございました。

提案事業名 (提案者 (敬称略))	事業概要
平成18年度に事業を実施するもの	
おもちゃフォーラム (川添由起子 ^{かわぞえ ゆきこ})	おもちゃフォーラムを開催する。(おもちゃの展示、伝承遊び、講演会など)
思い出ツリー植栽制度 ～メモリアル・チェリー・ブロッサム・プロジェクト～ (徳岡真紀 ^{とくおかまき})	記念日に、市の木である桜を植栽することにより愛着の持てる緑化を推進する。
市内一円に市の花・木の植樹補助事業 (吉舎町自治振興連合会 藤原利文 ^{ふじわらとしふみ})	花を一定の範囲に植栽し、三次市のイメージアップと地域づくりに役立てる。
PICK UP STARS ★～熱き挑戦者たち～ (佐々木良 ^{ささきりょう})	芸術・文化・スポーツ・ボランティアなどの分野で成績が優れ、功績のあった人や団体を表彰する。
石碑設置事業～甲奴町への交通安全啓発～ (財団法人三次交通安全協会 会長 武田満楽 ^{たけだ みちら})	交通安全意識を高めるための石碑を共同設置する。
三次キャリアサポートセンター (三次 CSC) (真野康典 ^{まの やすのり})	児童や生徒の様々な職種の体験学習をサポートする。
長寿者の表彰について (小林 斌人 ^{こばやし ひと})	敬老祝金の支給基準日を統一する。
防犯灯一斉点検 (三良幸雄 ^{みらゆきお})	防犯灯の一斉点検と修理を行う。
市営駐車場設置 (公共交通利用者用) (三良幸雄 ^{みらゆきお})	公共交通機関 (三次駅・バスセンター) の周辺へ市営駐車場を設置する。
釣り堀事業～やすらぎ空間を楽しむ～ (いこいの森弘法山活性プロジェクト委員会 会長 藤原左千夫 ^{ふじわらさちお})	国際交流事業や市民のリラックスの場として活用するため、いこいの森弘法山で釣り堀事業を実施する。
三次おはなしボランティア交流 (ネットワーク) 事業 (吉舎おはなしの会「りんく」 大屋定子 ^{おおやさだこ})	図書館を中心に、おはなしボランティアグループの交流会と学習会を実施する。
平成18年度に調査研究するもの	
三次市をアピールする新しい郷土誌 (仮称) の作成 (升井紘 ^{ますいひろし})	地域資源の紹介など新三次市をアピールできる郷土誌を作成する。
森のバイオマスを用いた火葬 (吉森幹子 ^{よしもりみきこ})	新火葬場で森のバイオマス (間伐材、チップ、おがくず) を用いた火葬を実施する。
空家を活かそう (宗片康修 ^{むねかたやすのぶ})	都会に住む人に空家管理人となってもらい、空家を田畑と一緒に貸し出す。
三次科学技術博物館の開設 (寺重隆視 ^{てらしげたかし})	学校の空き教室や休校中の校舎・グラウンドに、科学博物館を設置する。
就業促進プロジェクト 作木地域 SOHO 事業 ～SOHO で地域 IT サポート～ (作木商工会 会長 熊本孝司 ^{くまもとこうじ})	SOHO による「起業支援・就業促進」「地域 IT サポート」を実施する。 ※ SOHO とは「Small Office Home Office」の略で、IT (情報通信技術) を活用して事業活動を行っている従業員10名以下程度の規模の事業者のこと。
市民と森のエコパークを作る～森林・里山の再生とバイオマス循環型の暮らしづくり～ (竹常明仁 ^{たけつねあきひと})	市民参加による森林の再生と資源循環型の地域づくりを推進する。

📞 問い合わせ先

財務部財政室 ☎(0824) 62-6119 ☎(0824) 62-6235 ✉zaisei@city.miyoshi.hiroshima.jp

「みよし百年物語」策定

物語の主役は市民一人ひとりです

平成16年度から策定を進めてきた三次市総合計画「みよし百年物語」が、去る平成18年3月市議会定例会において、地方自治法第2条第4項の規定に基づく三次市の基本構想として議決されました。

この「みよし百年物語」は、昨年、中学生・高校生、そして市民の皆さんのそれぞれで開催した「みよし夢ビジョン100年会議」のまとめである3つの「夢ビジョン」をもとに、三次市がめざすべき50年、100年後の理想のまちの姿を創造し、だれもがいきいきと安心して暮らし、自らの郷土・歴史・文化を誇り、豊かな自然との共生をめざした「夢と元気があふれるまちづくり」を市民と行政との協働により進めていくための今後9年間における「まちづくりの総合指針」となるものです。

■主な取り組みの経過

◆みよし夢ビジョン100年会議

中学生24名・高校生20名による会議を平成17年8月に計3回、また市

民112名による6つの分野ごとの会議を平成17年11月から12月にかけて計3回開催し、「50年、100年後の理想の三次市像」などを検討していただき、その検討結果はそれぞれ「夢ビジョン」として取りまとめられ、市長へ提案されました。

◆まちづくりアンケート調査

平成17年11月から12月にかけて、中学生・高校生664名、18歳以上の市民2000名を対象にアンケート調査を実施し、中学生・高校生606名、市民837名から回答をいただきました。

◆三次市総合計画審議会

平成18年1月から2月にかけて計4回開催し、学識経験者を含む27名の委員により計画(案)を審議していただき、2月27日に答申をいただきました。

②問い合わせ先

総務企画部企画調整担当

企画調整グループ

☎(0824)6216115

☎(0824)6216137

✉kikaku@city.miyoshihrosima.jp

みよし百年物語

～五十年、百年後の理想の姿(全体像)～

平成の大合併といわれた時代から50年、そして100年の歳月が過ぎました。子どもたちは大きな夢や希望を抱き、よく遊び、よく学び、健やかに育っています。

人びとは、子どもからお年寄りまで、共に手を取り、認めあい、高めあい、支えあい、ぬくもりに包まれた中で、いきいきとあわせに暮らしています。

豊かな自然に包まれたまちには、たくさんの人びとが自由に行き交い、盛んに交流をくりかえしながら、それぞれの力を生かして汗を流し、にぎわいと活気が満ちています。

また、何年たっても変わることなく、人びとが大切に守り続けているものがあります。

美しい山や川、生命を支える豊かな土地、先人が築いた伝統や文化、永遠の平和を願う心、そして何よりも人を思いやる心…

みんな“三次”が大好きです。

「みよし百年物語」の6つの柱と今年度の主要事業 ～平成18年度当初予算から～

●マークは新規事業です（万円未満切り上げで記載）

こども

次世代を担う子どもたちが夢と希望を抱き、健やかに成長できるまちづくり

- 子育て
「温かい家庭・やさしい地域
それが僕と私の宝物」
～三次の子育て支援はナンバーワン～
- 教育
「一人ひとりを大切にすることこども教育の発進」
～三次のこども・三次の教育が日本を変える～

● 第3子以降保育料無料化 (歳入・負担金の減)	7,170万円
● 3歳未満児保育の拡大	408万円
● 放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ定員拡大等)	9,047万円
● のびのび学級三次プラン推進事業	8,064万円
● 小中学校耐震化事業	11億3,900万円
● 食育ネットワーク推進事業	140万円

H18

健康福祉

共に認めあい、支えあう、 温かみと安心感のあるまちづくり

- 保健 「いきいき健康日本一！」
- 福祉 「認めあい、支えあう、福祉のまち宣言」
- 医療 「あなたを見守る安心・充実医療365日」

H18

● 地域トレーニング拠点整備事業	1,300万円
● 介護予防事業	1億1,452万円
● 地域療育等支援事業	307万円
● AED（自動体外式除細動器） 整備事業	300万円

文化学習

歴史と伝統を継承するとともに、 学ぶ喜びをもてるまちづくり

- 住民自治・生涯学習
「みんなでつくろう！しあわせが実感できるまち」
- 芸術・文化 「世界へ発信！魅力あるみよし文化」
- 平和・人権・男女共同参画
「明日も笑いあえるように～手をつないでいられるように」
- スポーツ 「めざそう！スポーツ王国みよし」

H18

● 自治振興活動費補助事業	1億4,383万円
● 図書館システム構築事業	504万円
● (仮称) 奥田元宋記念館建設事業	1億9,980万円
● 中国高校男子女子駅伝大会	100万円
● みよし運動公園整備事業	8億1,520万円

産業経済

多様な仕事を興し、地域産業に活力を 与え、働く喜びをもてるまちづくり

- 観光 「出会いと感動“きんさい”みよしへ」
～三次市をあげて心を込めておもてなし～
- 農林畜産業等 「守ってばかりじゃいけない、攻めて・攻めて・攻めまくる」
- 商工業 「集う、創る、輝く、果敢に挑戦！どんどん実行！」

H18

● 大型観光キャンペーン事業	1億円
● 認定農業者育成事業	2,700万円
● 米販売促進キャンペーン事業	100万円
● 構造改革IT調査事業	100万円

環境

自然との共生を図り、 安全で快適に暮らせるまちづくり

- 環境 「“もったいない”の心を大切に
した環境と調和するまち」
- 防災・安全 「みんなが安心して暮らせる災害や犯罪に強いまち」
- 地域交通 「こころも地域もつながる交通ネットワーク」

H18

● 新エネルギービジョン策定事業	586万円
● アスベスト緊急対策事業（融資など）	2,555万円
● 子どもの安全支援事業	350万円
● 生活交通確保対策事業	1億9,633万円

都市

地域活動が活発で、 にぎわいと活力に満ちたまちづくり

- 州都への道のり 「水と緑と光の都市」
- 高度情報化 「光の速さでつなぐあなたと私のネットワーク」
- 都市の魅力づくり 「響きあう都市と自然のハーモニー」
- 市役所改革 「市役所の総合力で市民満足度アップ！」

H18

● 三次駅周辺整備事業	5億1,800万円
● 地域情報化（CATV）事業	13億8,829万円
● 上・下水道事業	32億5,121万円
● 三次町歴史的街なみ環境整備	5億7,593万円

※「みよし百年物語」・予算の詳細内容は三次市ホームページでご覧いただけます。

「創造的行政改革」を進めます！

〽三次市行政改革推進計画を策定〽
 三次市では、市民代表等で構成される三次市行政改革推進審議会からの提言を受けて、三次市行政改革推進計画（平成17年度から平成19年度までの前期計画）を策定しました。

この計画は、「透明な市政と市民協働の地域づくり」、「民間活力の活用と役割分担」、「スリムで自立した組織づくり」、「公共施設の徹底活用」などを実現するために、平成17年8月に策定しました三次市行政改革大綱に基づく具体的な取り組みを61項目にまとめたものです。

本市の行政改革は、萎縮ではなく発展であり、理屈ではなく実行する「創造的行政改革」です。

この改革により、未来の三次市民に誇れる魅力ある地域づくりを断行します。

行政改革の詳しい情報はホームページにも掲載しています。

三次市ホームページアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>

❓ 問い合わせ先

総務企画部企画調整担当

企画調整グループ

☎ (0824) 621-6115

☎ (0824) 621-6137

✉ kikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp

アウトソーシング

保育所運営業務、学校給食調理業務など3年間で22項目のアウトソーシングを実施。

● 3年間の累積効果額
 △216,100千円

指定管理者制度

平成18年度237施設で指定管理者制度の実施。

● 3年間の累積効果額
 △349,284千円

職員の削減

平成17年度24人の職員を削減。平成27年度当初までに合併前と比較して241人の職員を削減。

● 3年間の累積効果額と削減人員
 △482,120千円
 (37人減)

などの取り組みによる平成17年度から平成19年度までの累積削減効果額
 △1,458,854千円

“未来の三次市民にとって大切な課題への重点投入”

子育て支援策の充実

平成18年度～ 第3子目以降の保育料の無料化実施
 企業への子育て支援対策（育児休業支援など）の実施

学力向上の推進

平成18年度 全小学校で25人学級を実施
 平成20年度 全小学校で20人学級を実施

財政健全化の徹底

平成17年度～ 計画的な繰上償還の実施（3年間で約14億円）

市長室の窓

新しい「まちづくり」の足音が聞こえる

三次市長 吉岡広小路(よしおかひろこうじ)
市長室専用
☎(0824)62-6100 FAX(0824)65-2111
✉hirokoji@city.miyoshi.hiroshima.jp

4月の広報が皆さんのお手

元に届く頃には、1日のケーブルテレビの開局や15日の「奥田元宋・小由女美術館」の開館もすでに終わっている

と思いますが、現在(3月末)

は、それらの準備などに飛び回っています。ひとつの新しいことを産み出そうとするとき、それが現在どこで行われているのなら、注意すべきことなどを聞き取り、比較的順調に対応できますが、新しい事業への取り組みは試行錯誤

の連続。12月の豪雪など天候不順も加わり、まさに「産みの苦しみ」なのかもしれません。しかし一方で、誕生するまでの苦難が大きければ大きいほどその喜びも大きいもの

になります。

美術館のボランティアも3月末現在290人を超え「おもてなしの花いっぱい事業」も多数の参加を得ました。

「まち・ゆめ基本条例」の市民フォーラムは会場いっぱい参加者であふれ、確実に「まちづくり」に対する市民一人ひとりの意識改革や積極的な活動をいただいています。「まち」が動く・動こうとするその大きなエネルギーを強く感じます。

新年度の予算・事業もスタートします。自信を持って取り組みたいと思いますが、残念なこともあります。「あそこ」に予算をつけるなら「うち」の地域に！」「美術館やスポー

ツの予算よりは福祉の予算に！」「子育てよりは高齢者福祉に！」。行政の財政が厳しいと言いつぎる反省もあります。それぞれの事業は比較・敵対するものではありません。美術館も建設するし、それ以上に福祉も充実させる。そのために職員削減などの行革に取り組むのです。新たな「まちづくり」。合併した旧市町村のこれまでの伝統文化などを尊重すること。批判をすることでは何も生まれてきません。批判ではなく理解し合うこと。

一人ひとりの市民の価値観も考えも違う。いろいろな人が新しい「三次」を創っています。

た。奥田元宋・小由女美術館周辺の沿道に並びました。

3月25日(土)、青空のもと、約1000個のプランターが

ご協賛により準備されたパンジーの花が、約200人の市民・美術館ボランティア、企業、団体

のみなさんの手で植えられました。

三次市観光キャンペーン実行委員会では、おもてなしの花をさらに全市へと広げていくよう計画しています。みなさんのご協力をどうぞよろしくお願いします。



おもてなしの花
いっぱい事業
第1弾

おもてなしの花
パンジー満開!

三次市観光キャンペーン実行委員会

奥田元宋・小由女美術館周辺の沿道に並びました。

3月25日(土)、青空のもと、約1000個のプランターが

ご協賛により準備されたパンジーの花

が、約200人の市民・美術館ボランティア、企業、団体のみなさんの手で植えられました。

三次市観光キャンペーン実行委員会では、おもてなしの花をさらに全市へと広げていくよう計画しています。みなさんのご協力をどうぞよろしくお願いします。



ケーブルテレビ 開局！

4月1日(土)ケーブルテレビ局舎(三次市防災センター)において、開局記念式典が開催されました。ケーブルテレビが地域に根ざした市民のためのテレビ局であり続けるよう努めていきますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。平成18年度は、第二期開局地区(君田町・作木町・三和町)の施設整備を行います。第三期開局地区(吉舎町・三良坂町・甲奴町)にお住まいの方には、6月頃から説明会を開催します。



前川代表取締役社長と吉岡市長が開局のスイッチオン！



調整室



開局記念の生放送番組 中高生ら「夢」を語る！

❓問い合わせ先

総務企画部情報室CATVチーム ☎(0824) 62-6168 ✉jouhou@city.miyoshi.hiroshima.jp
 (株)三次ケーブルビジョン (三次市十日市東5-19-1) ☎(0824) 65-2211 ☎(0824) 65-0066

❓申し込み・問い合わせ先
 みよし運動公園管理事務所
 ☎(0824) 6211994
 ☎(0824) 6410344



オープンします！

みよし運動公園に
テニスコートが完成
 (屋外8面 屋内4面)

屋内テニスコート施設の愛称は、
 募集・選考の結果、「MIYOSHI
 DOME」に決定しました。

みよし運動公園に新しく仲間入り
 したテニスコート。これまでの施設
 と同様に皆様のご利用をお待ちして
 おります。

オープニングイベント 4月22日(土)
 一般利用開始 4月23日(日)

選定

みよしの匠



職員の予算提案制度で提案された「みよしの匠」認定制度。3月30日(休)には認定式を行いました。この制度は今年度から始まった取り組みで、選考委員会により次のとおり選ばれました。

「匠」の皆さんは、本紙最後のページにシリーズでご紹介していきます。まずまずのご活躍を期待しています。

No.	名前	前名	部門	技術
1	丸本	壺	伝統工芸の匠	三次人形
2	松岡	裕治	伝統工芸の匠	木工
3	石田	繁春	伝統工芸の匠	竹細工
4	佐藤	俊郎	伝統工芸の匠	陶芸
5	久保井	重太郎	伝統工芸の匠	作刀

No.	名前	前名	部門	技術
1	山本	初子	地域の匠	手描友禅
2	新矢	勇壮	地域の匠	藍染
3	高野	司朗	地域の匠	わら細工
4	堀野	正夫	地域の匠	三次太鼓制作

No.	名前	前名	部門	技術
1	金尾	恵弘	技の匠	杜氏
2	平田	英二	技の匠	杜氏
3	児玉	克憲	技の匠	乳製品製造
4	佐藤	洋之	技の匠	左官
5	清水	良治	技の匠	建築大工
6	宮地	健	技の匠	左官
7	弓場	和広	技の匠	板金
8	重岡	広文	技の匠	表装

夢街道地区に認定

三次の里 いにしえの里 物怪・でこ街道



三次町上市・太才通り三次本通りが「いにしへの里三次物怪・でこ街道」としてされました。

夢街道は、旧街道の歴史や文化を活かした地域づくりを官民協働で支援する「夢街道ルネサンス推進会議」が認定します。

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区は、江戸期以来、変わることに榮え道筋として商いを中心に榮え

た通りで、明治・大正期に建てられた町家が数多く、歴史を感じさせる街なみが残っています。

現在、石畳舗装と電線類地中化の工事で皆様にご迷惑をお掛けしておりますが、歴史的な道筋や街なみの整備を通して、伝統的資源の活用を図り、商店街の活性化や新たな人の流れを創出したいと考えています。

みよしの話題

歴史に幕 横谷小学校が閉校

明治10年
から129
年の歴史を
刻んできた
横谷小学校
が閉校しま
した。

3月26日

(旧)の閉校式では、校旗が児童代表から三次市に引き渡されました。引き続き開かれた「閉校を惜しむ会」では、スライドの上映や卒業生による思い出の披露が行われ、名残を惜しんでおられました。



全国小学生 ソフトテニス大会出場

3月29日から千葉県白子町で開催された第5回全国小学生ソフトテニス大会に、八次小学校5年生(開催日現在)の井上舞香さん、永谷羽留奈さん、平川愛子さんが出場されました。

これに先立ち、3月23日に体育協会の中村会長と市長が激励。新しくオープンするテニスコートの話を熱心に聞いていました。



(左から) 井上さん、永谷さん、平川さん

広響と共演 音楽づくりコンサート開催

3月13日(月)三次市文化会館で「子どもたちと広響による音楽づくりコンサート」が開催されました。市内7小学校(三次・十日市・八次・川西・三和・安田・八幡)から約950名の児童が集まり、広島交響楽団の演奏にあわせて

ハンドダンスやボディーパーカッション、全体合唱など、様々な音楽づくり学習を行いました。子どもたちの元気な声ホール内に響きわたり、楽しい素敵なコンサートになりました。



灰塚ダム 浮上した木造船で神楽

今秋の竣工を前に、灰塚ダムでは100年に1度といわれる水量をためる「試験湛水」が行われています。この湖水に、水没地のヒノキで組み立てた全長60メートルの木造船が甲板を現し、3月21日(火)には『ふね、山にのぼる』お披露目の会が行われ、地元の灰塚神楽団による神楽上演が行われました。

「ダムに沈む森を『引越し』させる」という思いで造られたこの木造船。悠々とした姿は壮観なものでした。



MIYOSHI お知らせ 掲示板

Miyoshi
City
Information

奥田元宋・小由女美術 館開館記念コンサート

マイ・ハート弦楽四重奏団
10th Anniversary



三良坂町出身の沖田孝司さんらによる弦楽四重奏をお楽しみください。

とき 5月21日(日) 14時開演
(13時30分開場)

ところ 三次市文化会館

入場料 一般2000円
学生1000円

問い合わせ先

市長公室秘書広報担当

☎(0824)6216103
FAX(0824)6216223

✉hsyo@city.miyoshihiroshima.jp

三良坂平和美術館企画 展「第16回県北の画家 たち展」

多くの皆様の熱いご支援をいただき、開催してきました「県北の画家たち展」。今年は前期と後期の2回に分け、県北で創作されている作家や県北にゆかりのある作家のすぐれた作品を紹介、展示します。

とき(会期)

前期：4月29日(土)～

5月21日(日)

後期：6月3日(土)～

6月25日(日)

9時～17時(月曜日

休館)

ところ

三良坂平和美術館

入館料 大人300円、高校生150円、小中学生無料

問い合わせ先

三良坂平和美術館

☎FAX(0824)4413214

みんなで楽しもう ストーンアート

三良坂平和美術館では、5月5日「子どもの日」にストーンアート教室を開催します。画家の榎原慶喜さんの指導のもと、ご家族やお友達で、楽しいストーンアートに挑戦してみませんか。どなたでも参加できます。創造する楽しみ、絵を描く楽しさを味わってください。

とき 5月5日(金)

9時～15時

ところ 三良坂平和美術館・三良坂平和公園

参加費 1人300円

定員 30人

申込期限 4月27日(木)

※先着順・定員になり次第締め切ります

問い合わせ・申し込み先

三良坂平和美術館

☎FAX(0824)4413214



中国地方のトップアスリートが三次に集結

第45回中国実業団 陸上競技選手権大会

中国地方実業団のトラック・フィールド競技の最高峰である中国実業団陸上競技選手権大会がみよし運動公園陸上競技場で開催されます。新緑の中で躍動するトップアスリートの熱戦をお楽しみください。

入場は無料です。

とき 5月6日(土)18時～20時、13日(土)16時～20時、14日(日)9時～15時

ところ みよし運動公園陸上競技場

問い合わせ先

教育委員会社会教育室

スポーツ・社会教育グループ

☎(0824)6216191

FAX(0824)6411090

✉shakai@city.miyoshihiroshima.jp

中国実業団陸上競技連盟事務局

☎(082)28715228

広告

もう少し「価格が安くなれば」家を建てたいとお考えの皆様

ガイドブック無料進呈
先着30名様

ローコスト住宅読本

誰もが話さなかった住宅業界の3つの秘密「家づくりはじめの一步」
進藤 篤彦 著

- 1 モデルハウスの正しい見学の仕方が分かる。
- 2 安くて良い住宅のつくり方が分かる。
- 3 ローコスト住宅の価格のカラクリが分かる

申し込みはカンタン

今すぐお電話・FAX・メールで「無料ガイドブック送って」とご連絡下さい。

ローコスト住宅研究会

三次支部 進藤 篤彦

三次市三良坂町12118

有限会社 ワイケイ総業

☎(0824)4417103 (直通)

FAX(0824)4412869

✉yk-sougyo@mx41.tiki.ne.jp



〈保育所開放〉

身近な場所で集い、遊び、相談できるよう、保育所を地域へ開放します。

気軽に遊びにおいでください。詳しい内容等は、それぞれの保育所へお問い合わせください。



目指せ！ 子育て日本一のまち

第3子目以降の 保育料を無料に

子育て支援として、4月から第3子目以降の保育料を無料化します。

対象 市内の公立保育所23所、私立保育所（子供の館、子供の城、みゆき保育園の3所）に通われている第3子目以降の児童
ただし給食費として1か月4千円を負担していただきます

詳しくはお問い合わせください。
お問い合わせ先
子育て支援局
のびのびこども室

☎(0824)6216147
FAX(0824)6216300
✉kodomom@city.miyoshihiroshima.jp

延長保育 5か所に

十日市・東光保育所、子供

の館・子供の城・みゆき保育園に続いて、愛光保育所でも4月から延長保育を開始します。

時間は、通常保育終了後の18時30分から19時30分で、1時間の延長となります。

お問い合わせ先
子育て支援局
のびのびこども室

☎(0824)6216147
FAX(0824)6216300
✉kodomom@city.miyoshihiroshima.jp

青少年自然体験活動 などに助成します

市内の青少年（小学生以上おおむね18歳以下）の自然体験活動などに対して、予算の範囲内で活動経費の1/2以

内、15万円を上限に助成します。

対象団体 団体の構成員の半数以上が市内に居住し、かつ青少年の体験活動に自主的に取り組む団体（ただし、市から他の補助金の交付を受けている団体は対象外）

対象活動 市内全域の青少年が参加できるように広く募集を行う自然体験活動などで、平成19年3月31日まで終了する活動

応募方法 所定の申請書などを提出

応募締切 5月24日(水)
交付決定時期 6月中旬

必ず、三次市青少年体験活動補助金交付要綱などを確認していただいでから、ご応募ください。

要綱・所定の申請書などは、三次市ホームページでご確認いただくか、またはお問い合わせください。

お問い合わせ先

市民生活部ひとづくり推進室
ひとづくりグループ

☎FAX(0824)64128832
✉hito@city.miyoshihiroshima.jp

❀ B C G 予防接種 ❀

生後3か月を過ぎたら6か月までの早い時期にB C G接種を受けましょう。



B C G接種後、他の予防接種を受けるときには4週間以上の間隔をあけてください。

対象 市内に住所がある生後3か月～6か月未満の乳児

日にち	受付時間	開催場所
5月24日(水)	13:00～13:30	みわ保健センター
5月31日(水)		三次市福祉保健センター4階ふれあいホール

子育て相談日

身体計測・離乳食・食事・歯・
育児相談など気軽にご相談く
ださい。

また、友達づくりに来てみ
ませんか？

日時 三次市内に住所のある
乳幼児とその保護者

とき 4月25日(火)・5月23日
(火) 9時30分～11時30分

ところ 三次市福祉保健セン
ター3階多目的室

パパママスクール

もうすぐ、お父さん・お母
さんになる方を対象にパパ・

子育て情報のお問い合わせ先

子育て支援局すくすく育児支援室

☎(0824) 62-6148

FAX(0824) 62-6300

✉ikuji@city.miyoshi.hiroshima.jp



ママスクール(マタニティク
ラス)を開催します。ご夫婦
での参加もお待ちしています
ので、子育てのノウハウを一
緒に学び、体験しましょう！

とき 4月28日(金)・5月29日
(月) 13時30分～16時

ところ 三次市福祉保健セン
ター 3階多目的室

対象 妊婦さんとその家族

離乳食講座

みんなで一緒に離乳食を作
り、楽しく交流しましょう！

とき 5月26日(金)
13時30分～15時30分

ところ 三次市福祉保健セン
ター 3階調理室

対象 乳児を子育て中の保護
者と子ども

すくすく育児支援室へ申し
込みをしてください。

乳幼児医療費の受給資
格を自動更新にします

乳幼児医療費受給資格の更
新申請が、平成18年度から自
動更新できるようになりました
。申請書(新様式)の提出



図書館コーナー

4月・5月の行事

行事名(4月・5月分)	日 時	参加対象
三次市立図書館 ☎(0824)62-2639 FAX(0824)63-2861		
トトコのおみきかせ(4月)	4月22日(土) 15:00～	幼児から
このほんだいすきぶーさんの会(5月)	5月6日(土) 10:30～	幼児から
ぐるんぱ(5月)	5月10日(火) 10:30～	幼児から
たんぼぼ(5月)	5月20日(土) 14:00～	幼児から
トトコのおみきかせ(5月)	5月27日(土) 15:00～	幼児から
君田図書館 ☎(0824)53-7050 (FAX兼用)		
ばんびのお話し広場(4月)	4月15日(土) 13:30～	幼児・小学生
ばんびのお話し広場(5月)	5月27日(土) 13:30～	幼児・小学生
布野図書館 ☎(0824)54-2111 FAX(0824)54-2429		
絵本の会「空色のたね」(4月)	4月15日(土) 10:30～	幼児から
絵本の会「空色のたね」(5月)	5月20日(土) 10:30～	幼児から
作木図書館 ☎(0824)55-2115 FAX(0824)55-7010		
絵本の会「どんぐり」(4月)	4月22日(土) 10:30～	幼児から
絵本の会「どんぐり」(5月)	5月27日(土) 10:30～	幼児から
吉舎図書館 ☎(0824)43-3444 FAX(0824)43-7272		
おはなし広場(4月)	4月25日(火) 10:30～	幼児から
おはなし広場(5月)	5月23日(火) 10:30～	幼児から
三良坂図書館 ☎(0824)44-2749 (FAX兼用)		
おはなし会(4月)	4月26日(火) 10:30～	幼児から
おはなし会(5月)	5月24日(火) 10:30～	幼児から
三和図書館 ☎(0824)52-3739 FAX(0824)52-3740		
絵本の広場(4月)	4月22日(土) 14:00～	幼児から一般
読書会(5月)	5月26日(金) 10:00～	一般
絵本の広場(5月)	5月27日(土) 14:00～	幼児から一般
甲奴図書館 ☎(0847)67-3532 FAX(0847)67-3538		
「へびくんのおさんぽ」のお話し会(4月)	4月15日(土) 14:00～	幼児から一般
「へびくんのおさんぽ」のお話し会(5月)	5月20日(土) 14:00～	幼児から一般

をいただきますと、毎年、有
効期間が切れる前に新しい受
給者証をお送りします。

は、すくすく育児支援室、各
支所、さわやか市民室、また
は郵送にて申請を行ってくだ
さい。

ご不明な点がありましたら
すくすく育児支援室までお問
い合わせください。

早めのご相談を 石綿健康被害者の ご遺族のみなさまへ

「石綿による健康被害の救済に関する法律」が3月27日から施行され、時効（被災者の死亡日の翌日から5年）で労災補償を受けられなかったご遺族の救済手続きが始まりました。

平成18年3月26日以前に時効となられた方が対象となります。

特別遺族給付金の請求を行い、労災認定がなされた場合は、請求があつた翌月分から支給の対象となりますので、お早めに最寄の労働基準監督署で手続きを行ってください。

❓ 問い合わせ先
三次労働基準監督署
☎ (0824) 62121104
FAX (0824) 6212140

心の健康相談

ストレス、対人関係の悩み、精神疾患にかかっているのではないか、治療のこと、

療養生活のこと、アルコール、薬物依存のこと、認知症、

思春期の悩みなどのある方やその家族に対し、精神科医や精神保健福祉相談員（保健師）が相談を受けます。

5月16日(火)
13時30分～14時30分
ところ 備北地域保健所相談室

※予約が必要です（秘密は厳守します）

❓ 申し込み・問い合わせ先
備北地域保健所
保健課 保健対策係
☎ (0824) 6315181
FAX (0824) 6315190

「パートナーみよし（男女共同参画情報紙）」 企画・編集スタッフ募集！

三次市では、だれもがいきいきと暮らすことのできる社会づくりのための情報紙（パートナーみよし）を発行しています。この情報紙と一緒に作っていただけのスタッフを募集します。

発行回数 年2回（6月・11月）予定

活動期間 平成18年5月～平成19年3月

場所 三次市青少年女性センターなど
申込締切 4月28日(金)
申込方法 電話またはFAX
でお申込みください。

❓ 問い合わせ先
市民生活部ひとづくり推進室
ひとづくりグループ
☎ (0824) 6412832
FAX (0824) 6412832
mailto:hito@city.miyoshi.hiroshima.jp

全国戦没者追悼式に 参加する遺族代表の 募集について

日にち 8月15日
場所 日本武道館（東京都）
募集人数 若干名
費用負担 参列費用の一部
日程予定 前日（8月14日）と当日。

募集資格

- ① これまで式典に参列したことがない遺族で、戦没者の配偶者、子、父母、及び兄弟姉妹に限る。
- ② 参列時期が夏季であり、また団体行動となるため、旅行に耐え得る者。
- ③ 参列は団体で行うので、別

行動をする者は不可。（個人での往復及び指定の宿舎以外での宿泊は認められない。）

※参列を希望される人は、5月19日(金)までに地域の遺族会を通してお申し込みください。

❓ 問い合わせ先
福祉事務所まごころ福祉室
☎ (0824) 6216146
FAX (0824) 6216285

こんにちは***
すこやか保健室です

福祉事務所すこやか保健室
☎ (0824) 62-6232 FAX (0824) 62-6382
mailto:hoken@city.miyoshi.hiroshima.jp

ウォーキング

4月になり暖かい日が多くなってきました。ウォーキングでも始めてみようと思われている方もいらっしゃると思います。

ウォーキングの効用としては…

- ① 心肺機能を高める
- ② 肥満を予防する
- ③ ストレスの解消

などがあります。

ウォーキングの効果を高めるためには歩き方も大切になります。

正しい歩き方としては…

- ① 背筋をしっかり伸ばし、上半身の余分な力は抜きます。
- ② アゴを引いて胸を張り、視線はやや前方におきます。
- ③ 歩幅は普段より広げます。
- ④ 足は、かかとから着地し、つま先で地面を蹴りだすように歩きます。

以上のようなことに注意し、楽しくウォーキングをしてください。



クリーンセンターから

❓ 問い合わせ先 市民生活部資源リサイクル室
 ☎(0824) 66-3449 ☎(0824) 66-3168
 ✉ shigen@city.miyoshi.hiroshima.jp

直接持込の際の分別について

三次環境クリーンセンターに直接搬入される場合、受付で分別の確認・指導を行っていますが、最近、作業場に持ち込んだあとに分別しようとされたり、ダンボール箱など中身が確認できないケースが見られ困っています。きちんと分別をして来られるお客様の迷惑にもなりますので、ごみ集積場に出される時と同じように分別してお越してください。なお、今年度から、事前に分別ができていない場合は、原則として受入れをお断りさせていただきます。ご理解とご協力を宜しくお願いします。

これからはムダなくトクするお買い物！

三次市買い物袋持参・ノー包装運動

参加のてびき イチニッサン

包装を辞退する度に
 1ポイント加算！
 50ポイント貯まると
 指定ごみ袋と交換！

1 協力店(レジ)でポイントカードを入手する

※包装を辞退するとその場でもらえます。
 ※買い物をしなくても協力店に行くともらえます。
 ※レジで使用される紙袋・包装紙も対象です。



2 50ポイント貯める



3 50ポイント貯まったら

指定ごみ袋・次のポイントカードと交換する。



な
あ
ー
に
?
「
協
力
店
」
で、

三次市が実施する「買い物袋持参・ノー包装運動」にご協力をいただく店舗のことをいいます。
 ご利用の際は「ポスター」及び「協力店」の表示をご確認ください。



受 付

4月から随時受け付けています。

❓ 問い合わせ先
 市民生活部資源リサイクル室
 ☎(0824) 66-3449 ☎(0824) 66-3168
 ✉ shigen@city.miyoshi.hiroshima.jp

地球にええこと！三次市は取り組みます
平成18年度 実施！

三次市では、レジ袋および包装類の削減に協力的な事業者を「ノー包装運動協力店」として認定し、事業者の皆さんの取り組みを推進する制度を創設します。認定店については、広報みよし・ホームページなどで広く市民の皆さまにご紹介させていただきます。
 ※認定基準に該当する事業者の方であれば業種は問いませんので、ぜひお申し込みください。

お知らせ

三次市
 「ノー包装運動」
協力店募集！

水道業務

4月から一部を民間委託します

4月から水道の業務の一部を民間委託します。
委託する業務内容などは次のとおりです。

委託する業務	委託内容	対象区域	受託業者
浄水場などの施設の運転管理	管理技術を持つ民間会社に簡易水道施設の運転管理業務を委託します。より安全でより安定した水道水の供給をめざします。	君田町・布野町・作木町管内	アクアエース(株)
		吉舎町・三良坂町・三和町・甲奴町管内	(株)ジャパンウォーター
水道料金・下水道使用料の徴収事務等	水道料金、下水道使用料の納入書の発行、口座振替の手続き処理や納め忘れのご案内などの事務を民間業者に委託します。厳格な個人情報管理に基づき、ていねいな対応に努めます。	市内全域	(株)ジェネッツ

公共下水道・農業集落排水事業 一部を供用開始します

計画的に公共下水道事業、農業集落排水事業の整備を進めているところですが、この

たび、整備が完了した公共下水道事業の三次町・十日市西・布野町・三良坂町・吉舎町の一部区域が、また、農業集落排水事業の高杉町・廻神町・江田川之内町、塩町・三和町の一部区域が、4月から新た

に供用開始となりました。

供用の区域になると、家庭や事業所からの排水管敷設工事ができます。

なお、供用開始となる区域図は水道局で見ることができ

？問い合わせ先
水道局営業管理室
☎(0824)6216143
FAX(0824)6218111
✉eigyokan@city.miyoshihiroshima.jp



寺戸浄水場内に膜ろ過施設が完成しました。

西日本最大！膜ろ過施設が完成

これは、通常の塩素消毒だけでは取り除くことができない微生物などを微細な膜でろ過して取り除きます。

完成した施設は西日本最大の施設で、より安全な水道水の供給をめざします。

？問い合わせ先
水道局事業推進室
☎(0824)6216165
FAX(0824)6216356
✉jigyosushin@city.miyoshihiroshima.jp

広告物の設置には許可が必要です

看板等の屋外広告物を設置する場合、自己の敷地内に設置する10㎡以下の自己用看板等以外は、広島県屋外広告物条例により、許可がなければ設置できません。許可期間は1年間で、設置を継続される場合は、毎年度当初に許可を受ける必要があります。

三次市全域で許可が必要となっています。合併以前から設置されている広告物も対象となりますので、まだ申請されていない方は、忘れずに申請していただきますようお願い

いたします。

？問い合わせ先
建設部みらい都市室
建築指導グループ

☎(0824)6216385
FAX(0824)6216166
✉toshi@city.miyoshihiroshima.jp

振替納税をご利用の方へ

平成17年分確定申告の振替納付日は、
所得税が4月20日(木)
消費税・地方消費税が4月27日(木)です。
振替日の前日までには、預貯金の準備をお願いします。

 広島国税局・税務署



便利な口座振替で！！

住宅・店舗リフォーム 資金補助事業

市民または法人が、市内の建設業者で、住宅や店舗のリフォームされた場合に、経費の一部を補助します。

捨て)

4 申込資格

① 市内に住所がある個人、または市内に登録している店舗を有する法人で、市税・料を完納していること

② 対象となる工事部分について、市の他の補助制度の補助などを受けていないこと

① 住宅または店舗の本体部分の増改築・修繕・模様替えなど、その機能を維持・向上する工事

5 工事を行う業者

市内に事業所を有する個人事業主、または会社・法人

6 補助金交付申請の受付日および場所

受付は5月15日(月)9時から、三次商工会議所で先着順に受け付けます。市内の商工会を経由しての申請も可能です。

7 事業説明会

4月24日(月)13時30分から、三次商工会議所で、手続きなどの説明会を開催します。

3 補助金額

工事金額の10%以内で最高10万円(千円未満は切り

8 その他

補助金交付決定前に着工した場合は、補助金は受けられません。必ず交付決定後に開始してください。

※この他にも、補助金交付の条件等がありますので、お問い合わせください。

① 問い合わせ先

三次商工会議所
☎(0824)6213125
FAX(0824)6315200

山仕事講座

三次市森林・林業研究会では、三次市内の森林所有者を対象に、森林施業技術のレベルアップを図るため、昨年、



広島県森林環境づくり支援センターの職員などが講師になりました。「山仕事講座」を開催しました。7回の講義・実習を11名が受講し、チェンソーの目立て、間伐・枝打ちのやり方など実践形式の講座を熱心に受講されました。

この山仕事講座は、平成18年度も開講される予定です。

① 問い合わせ先

三次地方森林組合
☎(0824)6410123
FAX(0824)6317151

無料法律相談室

とき 5月9日(火)10時~15時
ところ 三次市文化会館2階会議室
相談事項

民事(不動産・登記・金銭・交通事故関係、損害賠償など)
家事(相続、遺産分割、夫婦・親子関係、遺言など)

① 問い合わせ先

広島地方裁判所
三次支部庶務課
☎(0824)6315141
FAX(0824)6411895



労働保険の年度更新手続きは正しくお早めに!

労働保険の平成17年度確定保険料と、平成18年度概算保険料の申告・納付手続きの時期になりました。

労働者を雇用している事業主の方は、「労働保険概算・確定保険料申告書」を作成し、保険料を添えて提出してください。

提出先 最寄の銀行・郵便局・労働基準監督署・広島労働局総務部労働保険徴収課
提出期限 5月22日(月)

なお、平成18年4月1日から労災保険率等の改正がされています。

① 問い合わせ先

広島労働局総務部
労働保険徴収課
☎(082)22119246
三次労働基準監督署
☎(0824)6212104

農作業労賃等の標準額

三次市農業委員会では、平成18年度農作業労賃等の標準額を別表のとおり決定しました。なお、地域の実情や圃場の状況等の違いがありますので、標準額を参考によく話し合ってください。

作業内容		単位	金額(円)	備 考	
仕 付	荒 起	10 a	8,000		
	代かき	〃	12,000		
	代かき	荒かき	〃	5,000	
		荒かきしたもの	〃	7,000	
田 植	機械植	〃	8,000	補植なし	
	早乙女賃金(補植作業)	1 h	1,000		
育 苗	水稲稚苗	1 箱	680		
農薬散布		10 a	2,000	機械は受託者、農薬は委託者持ち	
稲刈脱穀	コンバイン	〃	20,000	結束する場合は2,000円加算。結束紐は受託者持ち。角刈りなし。コンバイン搬入は別。湿田等により作業能率が低下する場合は、その分加算する。	
乾燥調整	生 粳	30kg	950	搬入運賃は別	
草 刈		1 h	2,500	機械は受託者持ち込み	
農作業雇用労賃		〃	1,000		
軽作業雇用労賃		〃	750	果樹作業含む	
大型農機具運転手(オペレーター)		1 日	12,000	1,500円/1 h	

お問い合わせ先 農業委員会事務局

☎(0824) 62-6193 ☎(0824) 62-6235 ✉nougyou@city.miyoshi.hiroshima.jp

1. 職業訓練

講座名	期 間		時 間	額 (人)	受講料(会員) 〃 (一般)	
					〃	〃
インターネットコース	5/15~6/8	月・木	18:30~20:30	20	9,000円(テキスト代込)	11,000円(〃)
Word実践コース	5/16~6/9	火・金	18:30~20:30	20	9,000円(テキスト代込)	11,000円(〃)
パソコン基礎(昼)	5/15・17・19	月・水・金	13:00~17:00	20	8,000円(テキスト代込)	10,000円(〃)
Word基礎(昼)	5/22・24・26	月・水・金	13:00~17:00	20	8,000円(テキスト代込)	10,000円(〃)
短期園芸コース	5/27・28・6/3	土・日 (3日間)	18:30~20:30	20	9,000円(器具代別)	11,000円(〃)
中間管理職研修 (報・連・相)	5/25・26	2日間	9:00~17:00	20	17,000円(昼食費込)	20,000円(〃)
接 遇 対 応 訓 練	5/18	1日間	9:00~17:00	20	5,000円(昼食費込)	6,000円(〃)
ガイドヘルパー 養成講座	5/27・6/3・10	土	9:00~17:00	20	20,000円(テキスト代別)	22,000円(〃)

時間は変更になる場合があります。

広島北部地域職業訓練センター 訓練講座等ご案内

○定員になり次第、受け付けを締め切ります。
○申し込み・問い合わせ先
☎・☎(0824) 6218500
○ホームページをご利用ください。
http://www.nhvtc.ac.jp

【参考】三次高等技術専門学校 委託訓練

1. ITビジネス科

講座名	期 間	額 (人)	受講料
ITビジネス科 (パソコン 複式簿記 電卓等)	5/16~9/15		無料 (対象：雇用保険受給者) 申込窓口 公共職業安定所
	講義(3ヶ月) 実習(1ヶ月) 9:00~16:00	20	

主な行事

5月

- 三次市文化会館 (三次町)
☎(0824) 63-6335 ☎(0824) 63-6337
- 8日(月) L・C生涯学習教養講座「脳と骨をきたえよう」
- 9日(火) 無料法律相談会
- 13日(土) 日野原重明講演会&長野文憲ギター演奏会
- 19日(金) 国際ソロプチミスト三次 映画会「二人日和」
- 21日(日) マイ・ハート弦楽四重奏団10th. Anniversary
- みよし運動公園 (東酒屋町)
☎(0824) 62-1994 ☎(0824) 64-0344
- 1日(月) 三次地区高校総体陸上大会・サッカー大会
- 3日(水・祝)・4日(木・休)・5日(金・祝)
もみじカップサッカー大会
- 6日(土)・13日(土)・14日(日) 中国実業団陸上競技大会
- 7日(日) クラブユース選手権大会U-15広島県大会
全日本少年サッカー北支部予選
- 20日(土) JFAプリンスリーグU-18中国大会
広島県中学校ソフトテニス選手権大会三次予選
- 21日(日) クラブユース選手権大会U-18広島県大会
- 25日(木) 厚生年金受給者協会グランドゴルフ大会
- 27日(土) JFAプリンスリーグU-18中国大会
- 28日(日) 三次工業団地ソフトボール大会
- 県立みよし公園 (四拾貫町)
☎(0824) 66-3366 ☎(0824) 66-3370
<http://miyoshi-park.jp/>
- 2日(火) 学生交流球技大会
- 3日(水・祝) 第14回三次市親善卓球カーニバル
- 7日(日) 第34回モルテン・ミカサ杯バレーボール大会
- 13日(土) 平成18年度北部家庭婦人バレーボール連盟審判研修会
- 14日(日) ペブシカップ第25回全日本小学生バレーボール大会北部地区予選会
広島県マスターズ春季水泳大会(兼)ねんりんピック広島県・広島市予選会
- 16日(火) 三次市パークゴルフ協会月例コンペ
- 20日(土) 第2回ファミリーピクス in MIYOSHI
- 21日(日) 第37回全国ママさんバレーボール大会北部支部予選会
(社)日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会会員セミナー先行演習
- 26日(金) みよし公園パークゴルフ協会月例コンペ
- 27日(土)・28日(日) 広島県中学校バスケットボール選手権大会備北地区予選会
- 広島県立歴史民俗資料館 (小田幸町)
☎(0824) 66-2881 ☎(0824) 66-3106
- 4月21日(金)~6月11日(日) 平成18年度春の展示会
「石器と土器のはなし'06」
- 13日(土) 文化財講座「旧真野家住宅と古民家」
- 20日(土) ふどきの丘体験教室「ハニワをつくろう」
- 【広島県軟式野球連盟三次支部行事】
- 三次市営球場 (西酒屋町) ☎(0824) 63-1237
- 3日(水・祝)・4日(木・休) 第23回全日本少年軟式野球大会北部地区予選大会
- 5日(金・祝)・6日(土) マクドナルドカップ第10回中国地区学童軟式野球選手権大会三次地区予選大会
- 7日(日)・14日(日)・21日(日) 第39回中国五県1部・2部軟式野球大会三次地区予選大会
- 13日(土)・20日(土) 第36回広島県少年軟式野球学童選手権大会三次地区予選大会
- 27日(土) 第61回国民体育大会軟式野球競技一般A広島県決勝大会
- カーター記念球場 (甲奴町)
☎(0847) 67-2123
- 14日(日) 第39回中国五県1部・2部軟式野球大会甲奴地区予選大会

<p>人口の動き 4月1日現在 ()は対前月比</p> <p>人口総数60,814人 (-197人)</p> <p>男28,815人 (-96人)</p> <p>女31,999人 (-101人)</p> <p>世帯総数23,826世帯 (+30世帯)</p>	<p>3月の気象</p> <p>降水量125.0mm</p> <p>平均気温5.2℃</p> <p>最高気温19.0℃(27日)</p> <p>最低気温-4.9℃(15日)</p> <p>〔広島气象台 三次地方 観測所資料による〕</p>	<p>ハローワーク三次の 求人・求職状況 (2月分)</p> <p>月間有効求職者数884人</p> <p>月間有効求人数1,532人</p> <p>月間有効求人倍率1.73倍</p> <p>求人募集・仕事の相談 はハローワークへ! ☎(0824)62-8609 ☎(0824)62-1859</p>
---	--	---

交通事故多発予報

5月

警報日 交通事故発生の可能性がもっとも高い日
5月31日(水)

北部ブロック警報日 5月20日(土)

路線別注意報日 R54 5月26日(金)

県下一斉警報日 5月31日(水)

自衛隊幹部候補生募集

種目	応募資格	受付期間	試験期日
一般・技術	20歳以上26歳未満の者 (22歳未満の者は、大卒(見込含)) 大学院修士学位取得者 (海上技術幹部候補生志願者は、理工学修士学位取得者に限る)は28歳未満	4月12日~5月1日	1次: 5月20~21日 (21日は飛行要員のみ) 2次: 6月20~22日 (指定する1日) 3次: 7月20日~8月3日 (飛行要員のみ、ただし海は、7月31日まで)
歯科・薬剤	専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の者 (薬剤は26歳未満の者(薬学修士学位取得者は、28歳未満))	4月12日~5月1日	1次: 5月20日 2次: 6月20~22日 (指定する1日)

☎問い合わせ先 自衛隊広島地方連絡部 三次募集事務所
☎(0824) 62-0350





▲妻のみつ子さん(右)と長男の尚志さん(左)の3人で制作する。



▲1体1体丁寧に色付け。表情は作り手や時代で異なる。

匠探訪みよし

TAKUMI



Vol.1

丸本

たかし
丸本 圭さん

◆三次人形窯元

17年度に認定した「みよしの匠」(13ページ参照)。今月からシリーズでご紹介していきます。

第1回は広島県無形文化財に指定された三次人形の唯一の窯元、丸本(たかし)圭さん(61歳)。五代目となつて10年になります。明治時代の型の復元や、干支などの独自の作品を手がけるなど、精力的に活動されています。

「天神だけでなく色々な型があることを知ってほしい」とおっしゃっていました。

衆民の節句人形である三次人形は、素焼きしたものに胡粉(貝殻の粉末)をかけた、真白になった土人形に泥絵の具とニカワを混ぜた染料で色をつけます。およそ140種類があります。現在はその中の70〜80種類が作られています。

では、新旧様々な時代のもので、展示してあり、型や素焼きの状態なども見ることができます。同じく本通りにある三次市歴史民俗資料館では、5月10日(水)まで企画展「三次人形展」を開催中。「でこ」と呼ばれ、愛され受け継がれてきた伝統の技をじっくりとご覧ください。

伝統工芸の匠

問い合わせ先

☎(0824) 63-7502



▲独特の光沢から「光人形」とも呼ばれる。



▲型のもととなる原型。この型は製品化されていない。



▲江戸時代に宮ノ峽の窯元でつくられたもの。顔つきがずいぶん今のものと違う。



▲天神、男物、女物、動物など、多様で個性豊かな三次人形。

編集後記

3月終わりに「ココロの時代の新価値観」と題して講演会を行いました。ロハスという概念を初めて日本に紹介したピーター・D・ピーダーセン氏が講師でしたが、「日本の街は美しくない」という言葉が印象的でした。看板、電線、アスファルト、駐車場…。日本人は、便利さと引き換えに「美しさ」を失ってきたような気がします。

私たちのまちは美しいか。暮らしては、生き方は「美しい」と言えるのか。あらためて考えさせられたひとときでした。

今月の表紙

奥田元宋・小由女美術館 日本で一番、月が美しく見える美術館。写真はロビーからのぞむ満月です。元宋先生の「待月」という作品に描かれた風景を「再現」しています。

中学生以下は入場無料。満月の夜には夜10時まで開館するなど、様々なことに取り組んでいきます。三次に、新しい風を吹き込みまっかかけとすることでしょう。